

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	あらかわ治水巡り	事業経緯	継 続	実施体制	協 力	担当所属	坂町支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

荒川は「荒ぶる川」といわれ古くは寛治4年、記録が残るところでは宝暦7年の大水害など昔から洪水を繰り返し沿川に大きな被害を与えてきた。特に今年では昭和42年8月の「羽越水害」から50年という節目の年であり、これまで各種防災対策が進む一方で、住民の防災に関する意識が薄れてきている。

この節目を契機に、治水にまつわる史跡や施設を巡り、川と共存するために育まれた文化や知恵、工夫を学びあらためて防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：国土交通省羽越河川国道事務所・飯豊山系砂防事務所
協 力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆上流域コース(小国町内の史跡、治水施設、水害被災箇所等)

日 時：平成30年11月4日(日) 10:00～16:30

行 程：裏堀沢砂防堰堤－横川ダム周辺－赤芝峡－マタギの郷交流館
－玉川スーパー暗渠砂防堰堤

参加者：11名

◆下流域コース(村上市・関川村の史跡、治水施設、水害被災箇所等)

日 時：平成30年11月11日(日) 9:00～16:30

行 程：湯沢(水害痕跡等)－高瀬(温泉塔)－ハツコ(雷神社)
－鷹の巣発電所－貝附(狭の渡し)－中野(大蛇伝説)
－高畑(宮原翁の碑)－乙(乙宝寺)－海老江(荒川河口)

参加者：20名

◆案内者など

- ・地元自治体及び国土交通省職員が案内
- ・講師に地域の史跡・歴史に詳しい地元研究者や羽越水害経験者
- ・現地では参加者からも羽越水害当時の様子を語っていただいた。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

羽越水害50年事業の一環として平成29年度に初めて開催し、今年で2回目。自分たちが暮らす地域の成り立ちを知る「まちあるき」が各地で人気を集める昨今。荒川流域の治水に関する史跡等を巡り、川に育まれた文化にふれることで過去の災害を再認識し、流域に潜在する災害リスクを知るとともに、近年の想定される最大の洪水に対してとるべき行動を考えるなど防災意識の高揚につながった。

また、ふだん見過ごされがちな地域の魅力について再認識することで、今後の活性化につながることを期待される。

◆上流域コース



裏堀沢砂防堰堤



巨石の復興記念館



玉川砂防堰堤

◆下流域コース



湯沢(関鉄之介の)



鷹の巣発電所



荒川河口